

義務教育学校

八女市立上陽北渇学園

2021年度 学校紹介リーフレット

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北渇学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

〒834-1102 福岡県八女市上陽町北川内910番地

TEL 0943-54-2030 FAX 0943-54-2293

HP <http://joyohokuzeigakuen.yame.ed.jp/>



新しい流れができる場所、それが“北渇”

■ 歴史は、北渇義塾から始まりました。

明治12年、一人の賢人が請われて北川内村にやってきます。八女教学の祖・江碕済(えさきわたる)先生です。江碕先生はこの地に北渇義塾を作り、後に日本を動かす数々の門下生を輩出します。本校の歴史はここから始まりました。

■ 「渇」の文字に隠された思い。

「渇(ぜい)」には「川と川が合流し、混ざり合う所」という意味があります。ここで学んだ塾生が大きな流れとなって世に出てほしいという江碕先生の願いが込められています。今、上陽北渇学園は小学校と中学校という川が混ざり合い、まさに新しい流れが出来ようとしているところです。

■ 礼節の心、温故創新。

本校校歌に出てくる言葉です。北渇義塾の精神を受け継ぎ、礼節の心を大切にしています。また、校訓には、先人の知恵を大切にしつつ新しいことに取り組むという意味の「温故創新」という言葉を掲げています。

江碕済先生

上陽北渇学園では、1年から9年までの子どもたちがいっしょに生活しています。

4-3-2制を取り、初等科(1~4年)、中等科(5~7年)、高等科(8・9年)の3つの科のまとまりを重視し、それぞれの目標を掲げ学年に応じた学習活動を行っています。

初等科 1~4年

中等科 5~7年

高等科 8、9年



基礎ステージ

学級担任+α※による授業



発展ステージ

教科担任+α※による授業



進路実現ステージ

【学校の教育目標】

礼節を重んじ、主体的に行動し、
自他の幸せを追求する子どもの育成

【重点目標】

元気に挨拶をする子どもの育成

知 学習への意欲・充実感をもった挨拶

徳 思いやりの心のある挨拶

体 時と場合に応じた挨拶

児童生徒数 2021.4.1現在

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援 (前期)	特別支援 (後期)	計
17	9	21	13	19(2)	19	15(1)	12	21	2	1	146(3)

義務教育学校ならではの教育

義務教育学校では、1年から9年までを見通して教育を進めます。小学校籍・中学校籍・教科担当などの教職員の特性を生かすとともに、子どもたち同士の関わりを大切に学習活動を行っています。下は、その一例です。



6年生の3月から、中学数学を学習しています。子どもたちは興味津々で学習に取り組めます。



昼休み、9年生が2年生に勉強を教えています。優しいお姉さん、お兄さんたちに教えてもらいうれしそうです。

地域とともに子どもを育てる体制

学校

- ・ 校長
- ・ 教職員

学校運営協議会

- ・ 地域有識者
- ・ 保護者代表
- ・ 地域コーディネーター

地域学校協働活動

○協働活動

地域人材育成、郷土学習、協働防災訓練、学習・部活動支援、花壇整備、登下校の見守り等

○放課後等の学習活動

放課後、土曜日、休日における学習、スポーツ活動等

○体験活動

社会奉仕体験活動、自然体験活動、職場体験活動等

地域学校協働本部 (サポーター会議)

- ・ 地域学校協働本部長
- ・ 事務局
- ・ 地域コーディネーター
- ・ 協力団体の代表者



■ 2019年度より コミュニティスクール が始まりました。

2019年度からコミュニティスクールが導入されました。とはいえ、上陽町はもとも地域とともに子どもを育てる体制が根付いている地域です。今回のコミュニティスクール化の意義は、組織全体を整理することによって、地域の皆さん方により一層本校教育に参画していただきやすくすることです。